

あいさつ



愛西市議会議長
杉村 義 仁

新年あけましておめでとございます。市民の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。年頭にあたり、市議会を代表し、謹んでご挨拶を申し上げます。また、日頃から議会運営に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、北京にて冬季オリンピック・パラリンピックが開催されました。特にオリンピックにおいては、金・銀・銅合わせて18個のメダル獲得ということで、過去最多となりました。一昨年開催の東京オリンピック・パラリンピックに引き続き、日本選手団の弛まぬ努力と輝かしい功績には感服いたします。

一方で、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が行われるという、衝撃的なニュースが世界中を駆け巡りました。愛西市議会においても本事業に関する決議を採択しておりますが、一刻も早い解決を願っております。



愛西市長
日 永 貴 章

あけましておめでとございます。市民の皆様におかれましては、令和5年の新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、依然として新型コロナウイルス感染症に警戒が必要な状況ではありましたが、3年ぶりに「あいさいさん祭り」が盛大に開催されるなど、少しずつイベントや行事が開催できるようになり、ウイズコロナ、アフターコロナ社会に向けて明るい兆しが見えた一年だったのではないのでしょうか。

一方で、ウクライナ情勢の深刻化や急激な円安の影響によりエネルギーや食料価格が上昇し、市民の皆様の生活に大きな影響を及ぼした一年でもありました。本市では、こうした状況に対応していくため、上水道基本料金免除事業や保育所等副食費補助事業、小中学校給食費無償化事業など、様々な独自事業を実施してきましたが、引き続き、市民の皆様のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年4月からは「ひと・自然愛がふれるまち」を本市の将来像とした第2次愛西市総合計画後期基本計画がスタートし、「各施策に持続可能な開発目標(SDGs)の視点を取り入れて計画を推進してまいりました。そのような中、多くの企業や団体様にご協力いただき、SDGsの推進に係る包括連携協定を締結し、企業や団体様のノウハウやネットワークを活かし、市民の皆様がいつまでも健康で、安心・安全に暮らせるまちづくりのために相互に協力・連携することができるようになりました。今後も様々な主体と連携し、「協働のまちづくり」を進めてまいります。

本年も、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない社会の実現」に向けて全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様にとつて健康で幸せな年となりますよう心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

さて、本市議会では昨年4月に市議会議員の改選が行われ、新たな市議会がスタートしております。議員としての役割と責任の重さを自覚し、皆様のご意見が市政に反映されるよう自己研鑽に努めてまいります。本市においては教育や福祉など多岐にわたる課題が山積しております。執行部と知恵を出し合い、市民の皆様が安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指して、議員一同邁進してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様方にとって幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。